



2026年6月11日

各 位

株式会社 HODL1
代表取締役 CEO 田原 弘貴
(証券コード: 2345 東証スタンダード市場)
(お問合せ先) 取締役 CSO 田中 遼
電話番号 03-6427-7380 (代表)

株式会社博報堂キースリーとの業務提携に関する基本合意書締結のお知らせ

当社は、2026年6月11日開催の経営会議において、株式会社博報堂キースリー（以下「博報堂キースリー」といいます。）との間で、デジタル社債関連事業の推進に向けた協力体制構築に関する業務提携基本合意書（以下「本MoU」といいます。）を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1 基本合意書締結の経緯

当社は、「イーサリアムカンパニーとして、金融インフラの未来を広げる」を掲げ、イーサリアムの長期保有・運用を行う「HODL」事業とブロックチェーン技術の開発、社会実装を推進する「BUIDL」事業の両輪でイーサリアムエコシステムの拡大に貢献しています。

このような事業方針のもと、オンチェーン金融関連事業の推進に当たり、ブロックチェーン技術を活用した新たな金融インフラ及び事業機会の創出を重要な経営課題として認識しております。

近年、ブロックチェーン技術を活用して有価証券その他の金融商品を電子的に記録・管理するセキュリティトークンの市場は、国内外で拡大しております。国内の公募セキュリティトークン市場においては、2025年度の累計発行額が約3,333億円と前年度から約2倍に拡大したと公表されております。

海外市場においては、世界銀行がセキュリティトークンは2030年に年間約220億米ドル規模に達するとの見通しを紹介しております。さらに、トークン化資産市場全体では2030年に数兆米ドル規模へ拡大し得るとの複数の民間調査も存在しており、オンチェーン金融全体では巨大な市場機会が見込まれるものと考えております。

一方当社は、ブロックチェーンの専門性・技術力に特化した唯一の上場企業であり、セキュリティトークンに必要な技術領域であるステーブルコイン決済、金融機関向けのキャストディ基盤の構築にも専門性を有しております。

これらの専門性を活かし当社は、セキュリティトークンの発行・流通における技術的サポートはもちろん、セキュリティトークンの案件組成までワンストップで提供できる事業機会を模索しておりました。

その第一歩として、当社はセキュリティトークンの中でもデジタル社債に注目しております。デジタル社債は、発行体にとっては資金調達手段の多様化、投資家にとっては小口化・透明性・権利管理の効率化、プロジェクト関係者にとっては資金調達とマーケティング

グを一体化する手段となり得るものです。

当社は今後、IP などのエンタメ産業・蓄電池や太陽光などのインフラ産業など幅広い領域においてデジタル社債を発行するニーズのある企業、投資組合及びプロジェクト主体に対し、企画から案件組成、マーケティング、コミュニティ形成及びステーブルコイン決済の導入支援までを一体的に提供することを目指してまいります。

当社がデジタル社債関連事業の具体化に向けた検討を進める中で、博報堂キースリーとの間で、デジタル社債を活用した事業案、企業及び投資組合等への企画提案、マーケティング、コミュニティ形成並びにステーブルコイン決済の導入支援等に関する連携可能性について協議を重ねてまいりました。

博報堂キースリーは、Web3 領域における事業プロデュース、プロジェクト推進、マーケティング及び企業向け Web3 サービス開発支援に知見を有しており、当社は、同社との連携により、デジタル社債関連事業の企画・推進、発行候補企業及び関係事業者との案件組成、発行後のマーケティング施策等をより具体的に推進できるものと判断し、本 MoU を締結いたしました。

本 MoU を通じて、デジタル社債関連プロジェクトの企画・案件組成に係る支援報酬、デジタル社債の発行・流通に係るシステム開発及び技術導入支援に係る収益、ステーブルコイン決済の導入・運用支援に係る収益、並びにマーケティング及びコミュニティ形成支援に係る収益の創出を目指してまいります。

2 基本合意書締結の内容

両社は、以下の事項について共同施策として推進してまいります。

(1) デジタル社債関連プロジェクトの企画・推進及び開発に関する協業

当社及び他社（企業、投資組合等）によるデジタル社債関連プロジェクトを対象に、企画・推進・共同マーケティング、事業領域・収益モデルの共同検討、並びに発行体・関係事業者との共同提案及び案件組成を行います。

(2) ステーブルコイン決済及び周辺領域に関する連携

デジタル社債の流通時におけるステーブルコイン決済に係る導入及び開発支援、デジタル社債及びステーブルコイン決済に関連する調査、実証、共同提案及び情報発信、法令・規制・ガイドライン及び実務上の論点に関する情報共有並びに専門家を交えた検討

(3) 共通施策

共同運営会議（Steering Committee）の設置、対外発表・イベント登壇・共同マーケティング・コミュニティ形成

3 業務提携の相手先の概要

(1)	名称	株式会社博報堂キースリー
(2)	所在地	東京都港区赤坂 5 丁目 3 番 1 号 赤坂 Biz タワー 23 階
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役 重松俊範
(4)	事業内容	Web3 領域における事業プロデュース、プロジェクト推進、マーケティング支援、Web3 サービス開発支援等
(5)	資本金	100 百万円
(6)	設立年月日	2022 年 12 月 5 日

(7)	主な株主	株式会社博報堂、渡辺創太等
(8)	当社と当該会社との間の関係	資本関係：なし 人的関係：なし 取引関係：なし 関連当事者への該当状況：該当なし
(9)	URL	https://www.key3.co.jp/

株主の持ち分比率、財務情報については相手先の要望により非開示としております。

4 日程

(1)	経営会議決議日	2026年6月11日
(2)	契約締結日	2026年6月11日
(3)	協業開始日	2026年6月（予定）

5 今後の見通し

2026年内を目途に第一号案件の組成着手を目指しており、デジタル社債の発行支援・ステーブルコイン決済の実装を通じた有償取引の創出を計画しております。

当社は、本 MoU に基づく協業を通じて、デジタル社債関連プロジェクトの企画・案件組成に係る支援報酬、デジタル社債の発行・流通に係るシステム開発及び技術導入支援に係る収入、ステーブルコイン決済の導入・運用支援に係る収入、並びにマーケティング及びコミュニティ形成支援に係る収入等、複数の収益機会の獲得を目指してまいります。

本 MoU は、現時点では法的拘束力を有しないものです。今後、個別案件の成約その他当社の業績に重要な影響を与える事項が生じた場合には、東京証券取引所の適時開示規則に基づき、速やかに開示いたします。

以上